

特別セミナー

近世史とジェンダー

「ジェンダー史としての天保改革と江戸」をめぐって

アメリカ合衆国より、全米批評家協会賞受賞などの評価を受けた評伝 *Stranger in the Shogun's City* の著者であり、近世・近代を中心とした日本史の研究者であるエイミー・スタンリー氏をお招きします。スタンリー氏の論考「ジェンダー史としての天保改革と江戸」に関する話題を中心に、ジェンダーの観点から見た日本近世史の問題などについてお話しいただき、コメンテーターとの質疑の後、参加者を交えた議論をおこないたいと思います。

[講師] エイミー・スタンリー（ノースウエスタン大学歴史学部教授）

[コメンテーター] 須田努（明治大学情報コミュニケーション学部長・教授）

[日時] 2023年12月4日（月）15時20分～18時

[会場] 明治大学駿河台キャンパス（教室未定）

[使用言語] 日本語

[対象] 日本史・日本文化研究、ジェンダー史研究等に関心をお持ちの方

※主に研究者・大学院生等を対象とします。講師による論文（エイミー・B・スタンリー「ジェンダー史としての天保改革と江戸」『国立歴史民俗博物館研究報告』第235号、2022年9月所収）を事前にお読みになってご参加ください。

エイミー・スタンリー Amy Stanley

ノースウエスタン大学歴史学部教授。Ph. D. (ハーバード大学)。近世・近代日本社会史およびグローバル・ヒストリー、女性史・ジェンダー史を専門とする。著書に *Stranger in the Shogun's City* (2020)、*Selling Women: Prostitution, Markets, and the Household in Early Modern Japan* (2012)、日本語論文に「ジェンダー史としての天保改革と江戸」（『国立歴史民俗博物館研究報告』225）がある。

参加無料・要申込み

[申込み方法]

①お名前、②ご所属、③連絡先を明記の上、下記メールアドレスへお申し込みください。開催前々日（12月2日）までに会場等の詳細をご連絡いたします（ご案内が届かない場合はお問い合わせください）。

hioki@meiji.ac.jp（明治大学情報コミュニケーション学部・日置貴之）

[主催] 明治大学情報コミュニケーション学部 日置貴之研究室

本セミナーは2023年度明治大学研究者交流支援制度（Research Mobility Grant）による助成を受けています（グラントナンバー MU-RMG 2023-03）。

Stranger in the Shogun's City: A Japanese Woman and Her World (Scribner, 2020) は、江戸時代末期のひとりの女性の激動の人生を、家族との間の手紙などから描き出した評伝で、刊行以来、アメリカ合衆国を始め各国で高く評価されています。

その著者エイミー・スタンリー氏をお招きし、研究の対象となった「常野」という人物との「出会い」や、ジェンダーの観点から見た日本史研究の問題などについて伺います。

[講演者] エイミー・スタンリー氏 (ノースウエスタン大学教授)

[日時] 2023年12月5日(火) 18時~20時

[会場] 明治大学駿河台キャンパス リバティータワー1階1011教室

※使用言語・日本語

参加費無料・要申込み

[申込み方法] こちらのフォームからお申し込みください。



<https://forms.office.com/r/Mpf9XueSX8>

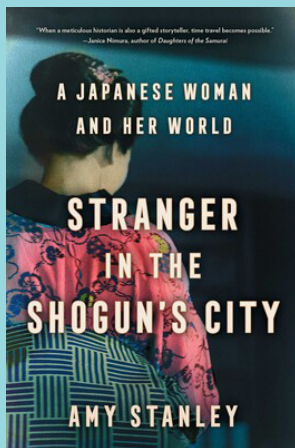
[主催] 明治大学情報コミュニケーション学部 日置貴之研究室

[問い合わせ先] hioki@meiji.ac.jp

[講演者プロフィール]

エイミー・スタンリー Amy Stanley

ノースウエスタン大学歴史学部教授。Ph. D. (ハーバード大学)。近世・近代日本社会史およびグローバル・ヒストリー、女性史・ジェンダー史を専門とする。著書に Stranger in the Shogun's City(2020)、Selling Women: Prostitution, Markets, and the Household in Early Modern Japan(2012)、日本語論文に「ジェンダー史としての天保改革と江戸」(『国立歴史民族博物館研究報告』225)がある。



Stranger in the Shogun's City: A Japanese Woman and Her World

越後国(現在の新潟県)の寺に生まれた常野は、数度の結婚と離婚を経て、自らの強い意志で江戸へと向かい、大都市で"stranger"として生きていく。その人生は特異であると同時に、当時の日本社会で女性が一般に置かれた立場がどのようなものであったかをも示している。

石神村林泉寺文書(新潟県立文書館蔵)に含まれる、常野と家族との手紙から、従来あまり知られることのなかった江戸時代の一女性の生涯を描き出した本書は、全米批評家協会賞受賞(2020年)、ピューリッツァー賞最終候補(2021年)など高く評価されている。日本語版はみすず書房より2024年刊行予定。